

# 保・幼・小・中・高をつなぐ連携教育ガイドライン



高知県教育委員会

平成22年3月



## 【はじめに】

本県の児童生徒を取り巻く教育の現状は、学力の未定着や生徒指導上の諸問題及び学力面の課題など厳しい課題があります。

この課題を解決するためには、児童生徒の発達の段階に応じた適切な教育を実践することが必要であり、特に、就学前教育や校種間の接続の問題に着目する必要があります。

また、新幼稚園教育要領や新学習指導要領においても、校種間の連携や交流を図るようにすることが明記されています。

そのため、接続の問題への対応に焦点を当てた保・幼・小・中・高の連携教育の必要性や手立て、効果的な実践事例を盛り込んだ連携教育ガイドラインを作成しました。

## 【目次】

1	接続の問題と連携教育（小1プロブレムと中1ギャップ）	・・・ 1
2	連携教育を進めるための5つの手立て	・・・ 2
3	接続の問題に関する状況（各種データから）	
	（1）学力の定着状況	・・・ 3
	（2）暴力行為・いじめ・不登校等生徒指導上の諸課題の状況	・・・ 6
	（3）体力の状況	・・・ 7
	（4）高校中途退学率の状況	・・・ 9
	（5）特別支援教育に関する状況	・・・ 10
	（6）生活習慣に関する状況	・・・ 14
4	効果的な事例	
	（1）ステージⅠ 保幼小連携教育	
	○ 豊かな心と生きる力を育む保・幼・小連携（香南市夜須町地域）	・・・ 15
	○ 実効性のあるスタートカリキュラムの創造（香南市立野市小学校）	・・・ 17
	（2）ステージⅡ 小中連携教育	
	○ 学力向上に向けた小中連携教育の充実と推進（南国市立香長中学校）	19
	○ 自発的に学ぶ力、安定した生活力、対人関係能力の育成 （日高村佐川町学校組合教育委員会）	21
	○ つなぐ～ぬくもりの中で育ちあう子どもたち～ （須崎市立須崎中学校区）	23
	○ 9年間のカリキュラムでつながる小中連携（須崎市立上分小・中学校）	25
	○ 15年間を見通した保・小・中連携教育（大野見中学校区）	・・・ 27
	（3）ステージⅢ 中高連携教育	
	○ 生徒間交流とつなぎ教材で、高校生活への適応を促進 （大正・十和地域中高一貫教育）	29
	○ 生徒情報の共有で、高校生活への適応を支援	・・・ 31
	（4）ステージⅣ 家庭・地域との連携	
	○ より開かれた学校づくりと地域教育力の再生（南国市立稲生小学校）	33
	○ 土佐町学校応援団～地域全体で学校を支える仕組み作り～	・・・ 35

### <資料>

- ・ 小学校以降の生活や学びにつながる幼児期の育ち
- ・ 中1ギャップ解消のための小中連携教育に向けて（平成21年1月リーフレット）
- ・ 個別の指導計画（記入例）
- ・ 個別の教育支援計画（様式例）